

**平成 29 年度 「教員の個人業績評価結果」
に関する報告書**

平成31 年1月

大学評価室

1. 教員の個人業績評価の実施結果 [2017 年度]

| 対象部局 | 在職教員数 | 評価除外者数 | 評価対象教員数 | 実施教員数 | 評価実施率 |
|--------|-------|--------|---------|-------|-------|
| 学部・大学院 | 537 | 51 | 486 | 388 | 79.8% |
| その他部局 | 239 | 63 | 176 | 69 | 39.2% |
| 合計 | 776 | 114 | 662 | 457 | 69.0% |

※在職教員数とは、当該年度3月31日現在の教員数を示す。

※評価除外者数とは、在籍期間が1年に満たない教員数（新規・中途採用、退職・転出等が明らかな教員）、部局等の長、テニュアトラック教員、特命教員及び寄附講座等教員を示す。

※実施教員数とは、教員業績情報システムに登録されている教員のうち、評価が実施された教員数を示す。

※評価実施率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示。

2. 教員の個人業績評価の集計方法

教員業績情報システムに登録されている教員のうち、評価が実施された教員を示す「実施教員数」のデータを使用して、クロス集計及び傾向等の分析を行う。

対象とした部局は、表1のとおり。ただし、「2017年度の評価実施率が25%未満の部局」又は「評価対象教員数が5名未満の部局」については、評価結果を表示しないものとする。

表1 評価対象部局

| 対象部局 | 2017 年度 |
|--------|--|
| 学部・大学院 | 地域学部 医学部 医学系研究科 工学研究科 農学部 |
| その他部局 | 乾燥地研究センター 教育支援・国際交流推進機構 総合メディア基盤センター 生命機能研究支援センター |

- 教員の自己評価及び評価者の評価結果とは、以下の区分及び判断基準を使用したものである（表2）。

表2 自己評価及び評価結果の判断基準

| 区分 | 判断基準 |
|----|-----------------|
| AA | 活動実績について十分満足できる |
| A | 活動実績について満足できる |
| B | 活動実績について満足できない |

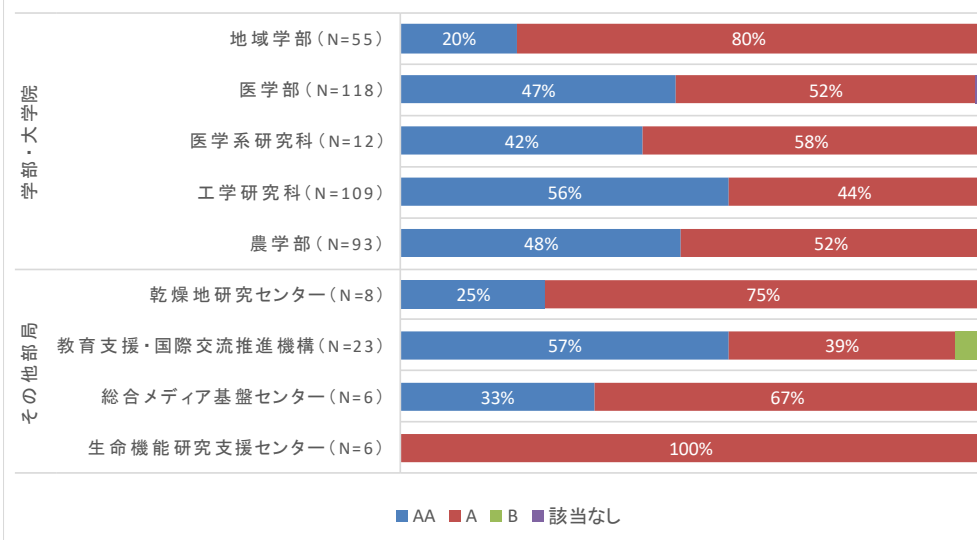
3. 評価者の評価結果 [2017 年度]

2017 年度において、評価者が判定した評価結果を部局別及び職名別に示す。

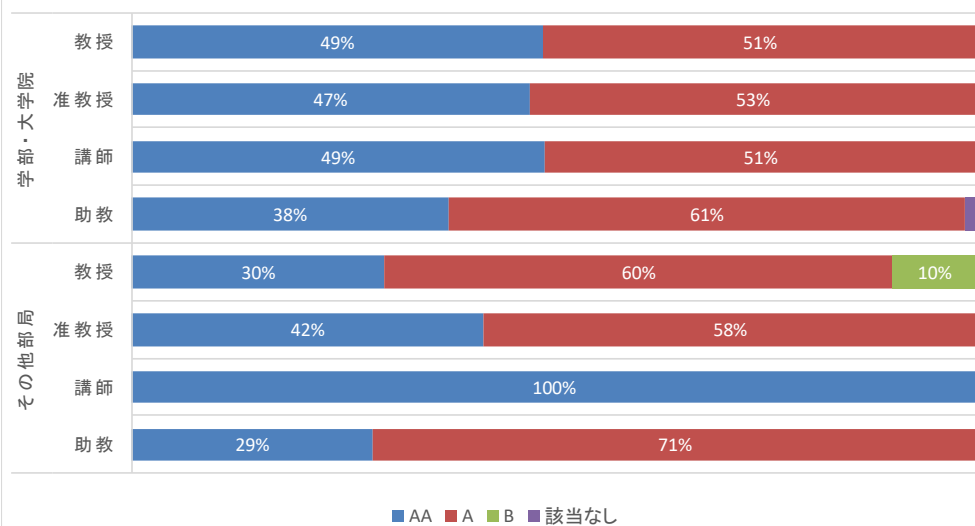
■概要

- ※ 【教育】工学研究科及び教育支援・国際交流推進機構では、AAが50%以上を占めている。
- ※ 【研究】医学系研究科及び工学研究科では、AAが50%以上を占めており、乾燥地研究センター及び総合メディア基盤センターでは、Bが25%以上を占めている。また、学部・大学院において、職位が下がるにつれてBの割合が増加傾向にある。さらに、学部・大学院の教授ではAAが51%となっているのに対し、その他部局の教授ではBが20%となっている。
- ※ 【社会貢献・国際交流】乾燥地研究センター及び総合メディア基盤センターでは、AAが20%以下となっている。また、学部・大学院において、職位が下がるにつれて該当なしの割合が増加傾向にある。
- ※ 【管理・運営】農学部、総合メディア基盤センター及び生命機能研究支援センターでは、AAが50%以上を占めている。また、学部・大学院の教授、その他部局の教授以外の職名でAAが50%以上を占めている。さらに、学部・大学院の助教では、該当なしの割合が33%を占めている。

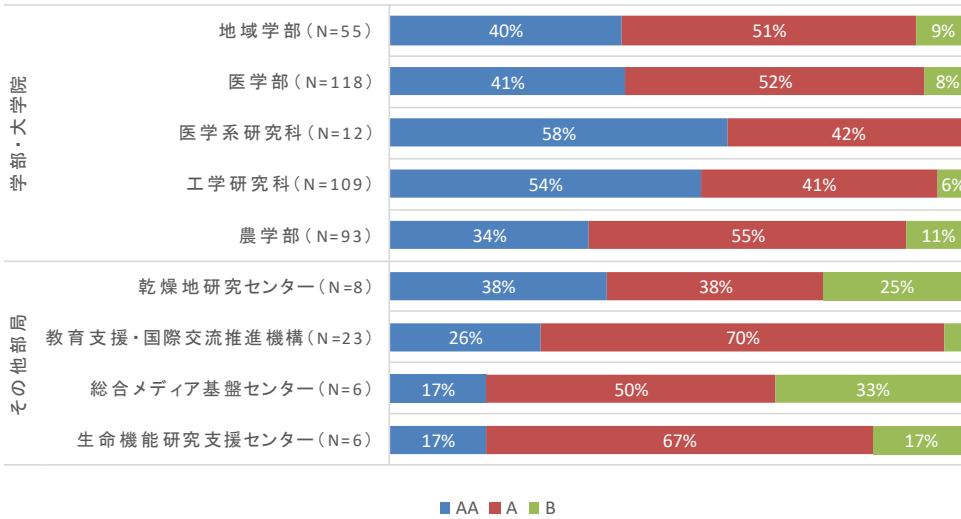
部局別評価結果【教育】(N=430)



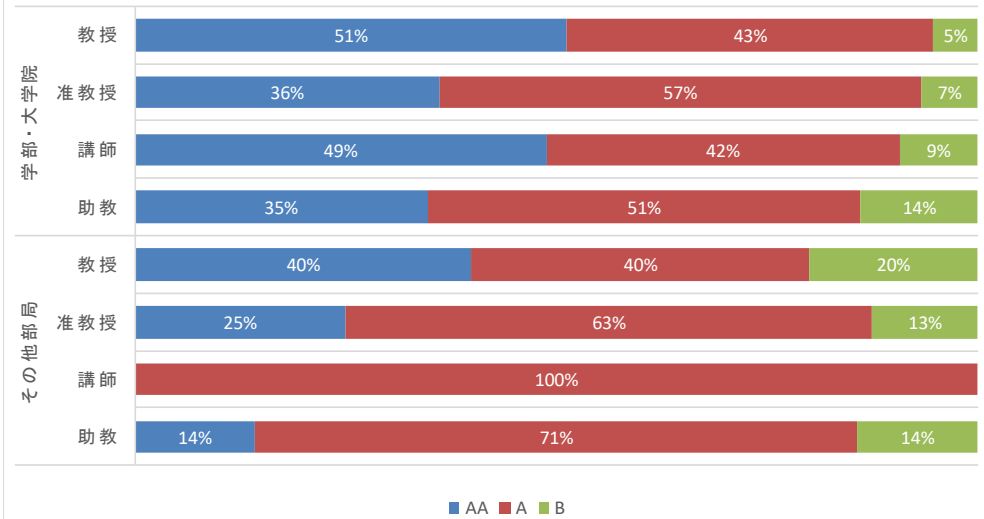
職名別評価結果【教育】(N=430)



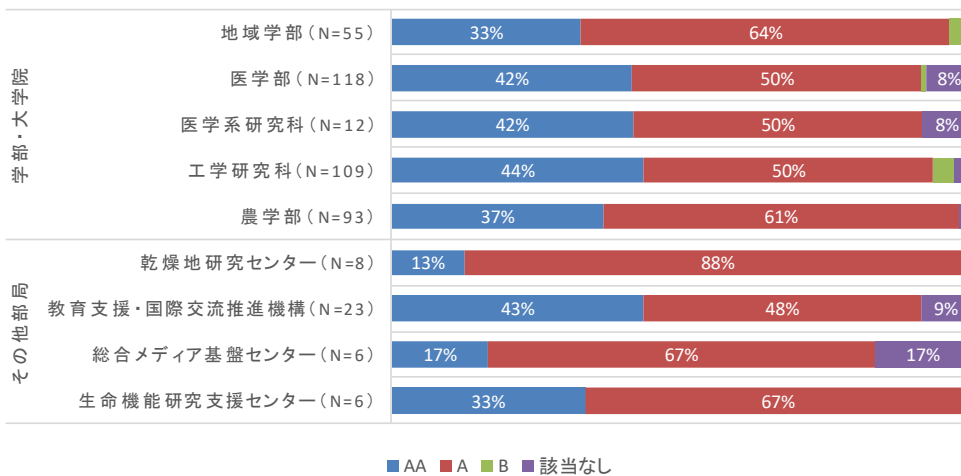
部局別評価結果【研究】(N=430)



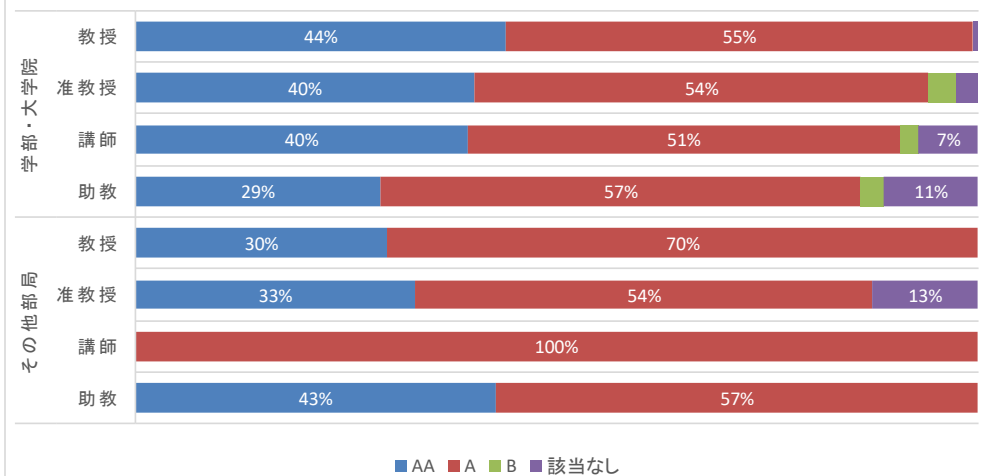
職名別評価結果【研究】(N=430)



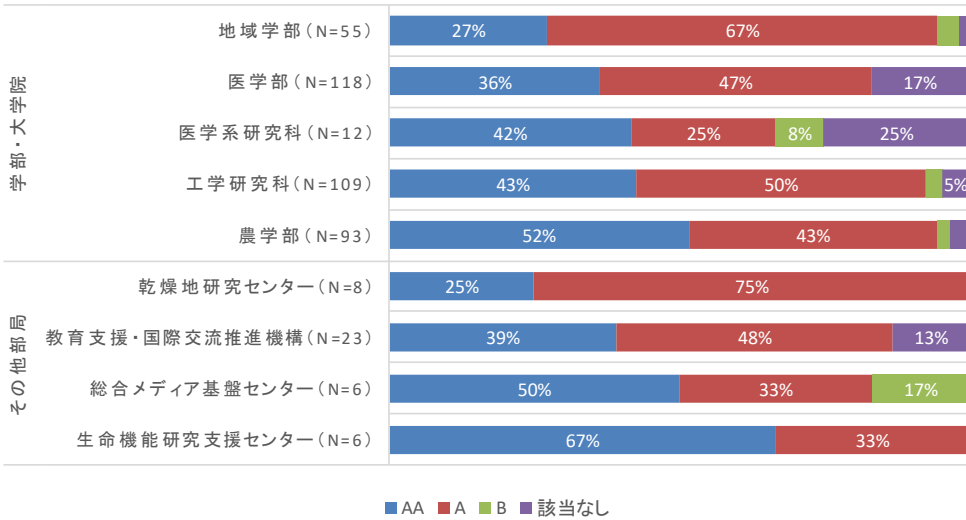
部局別評価結果【社会貢献・国際交流】(N=430)



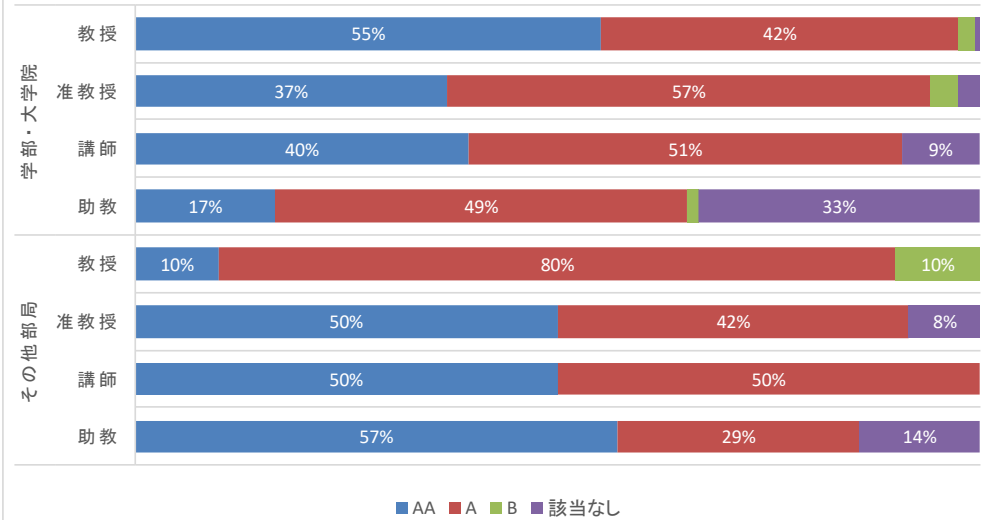
職名別評価結果【社会貢献・国際交流】(N=430)



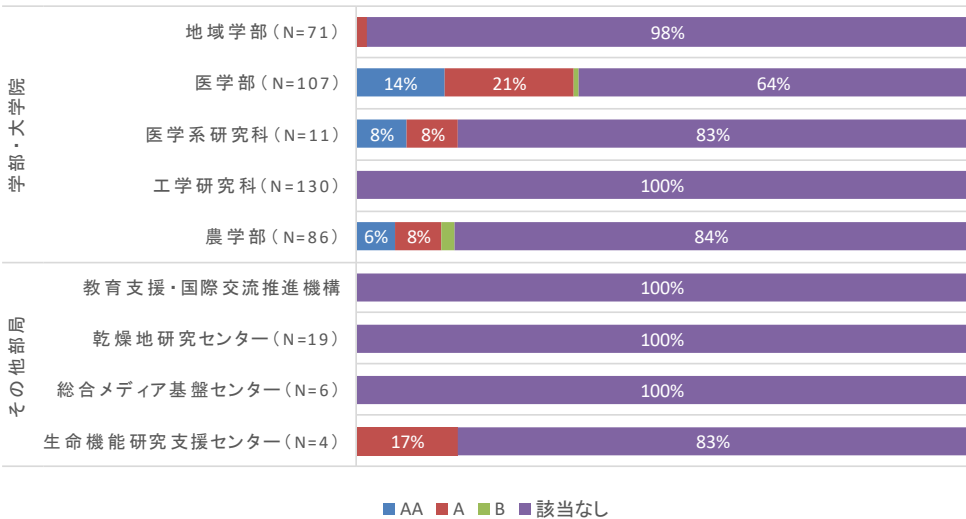
部局別評価結果【管理・運営】(N=430)



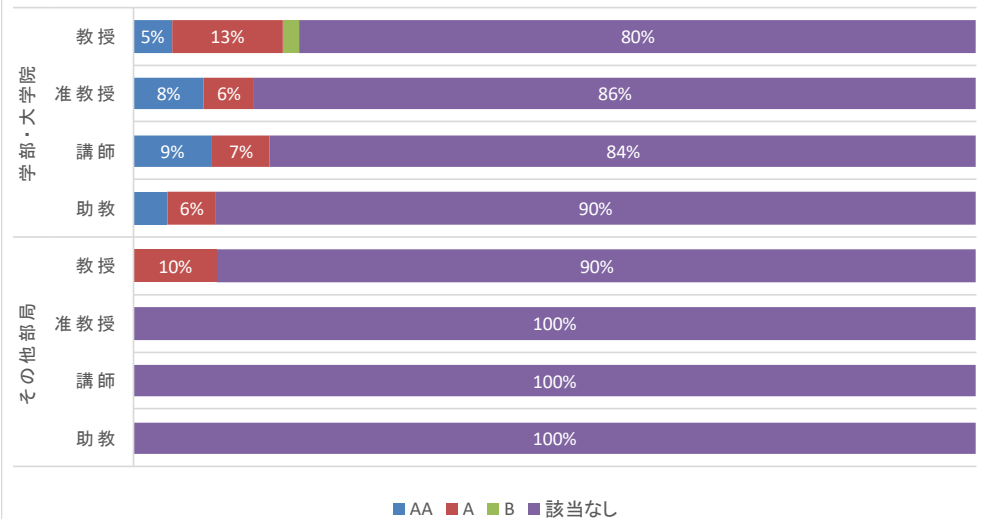
職名別評価結果【管理・運営】(N=430)



部局別評価結果【診療】(N=430)



職名別評価結果【診療】(N=430)



※評価結果の割合は、小数点以下第1位を四捨五入して表示。